

万協フローア OAPタイプ 施工要領書

1.はじめに

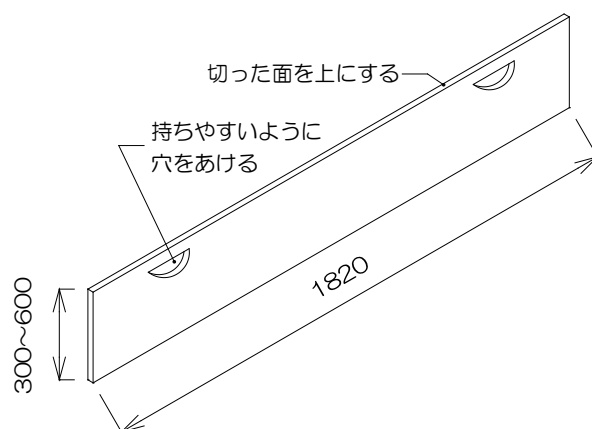
このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がり施工して頂くために
本書をよく読み、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

2.施工工具一覧

- ・電動ノコギリ（丸ノコ）
- ・ドライバー（＋）
- ・インパクトドライバー
- ・水平器
- ・レーザー水平器
- ・スケール
- ・カッター
- ・定規（下図参照）※1
- ・すきまゲージ（壁際用 5mm）
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・スクレイパー

※1 定規

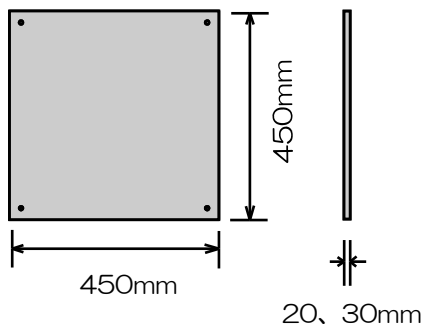
パーティクルボードを半分に切って作ります。



床の水平レベルの調整するために必要なものとなります。

3. 製品仕様

①パーティクルボード（以下、パーチとする）



OP-2044（厚 20×450×450 mm）
OP-3044（厚 30×450×450 mm）

注意 万協フローア指定のパーチをご使用ください。

注意 パーチはぬらさないで下さい。

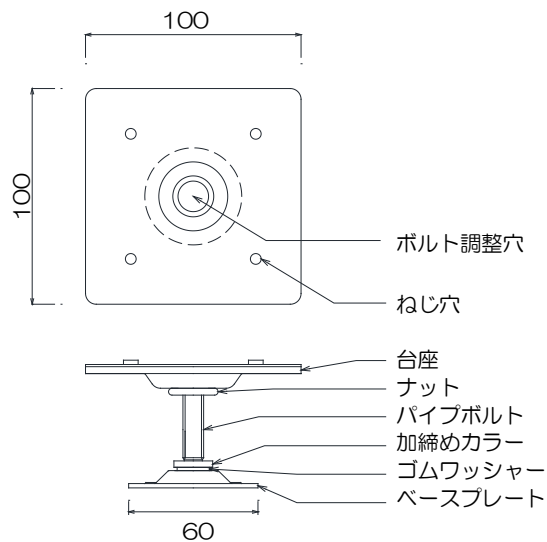
注意 直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

②支持脚およびクッションゴムシート（同梱）

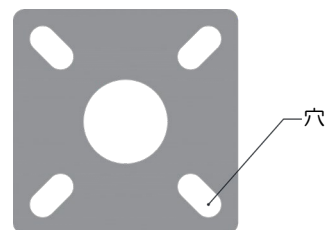
品番によりナットの形状および寸法が変わります。

品番により、パイプボルトの長さが変わります。

OAP-210 以上の品番は、パイプボルトの径が太くなります。



支持脚

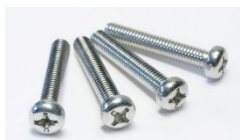


厚 1.0×100×100mm

クッションゴムシート

③パーチ固定用なべねじ（同梱）

(φ) 6×(長さ) 35mm



④接着剤（同梱）

中ブタを取り、ノズルの先端をカッターで切って使⽤します。冬季など低温度・低湿度のときは硬化しにくい場合があります。

注意 万協フローア指定の接着剤（BA-200）をご使⽤ください。

注意 使⽤の際は換気をよくしてください。

誤って目に入れたり、飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。

注意 標準入数の半数以下のご注文の場合、接着剤は同梱されませんので、別途購入してください。

⑤コーススレッド（別売 市販品）

壁際でネダとパッチの固定に使⽤します。

20mm パッチ(OP-2044) (長さ) 38mm

30mm パッチ(OP-3044) (長さ) 45mm

4. 施⼯手順

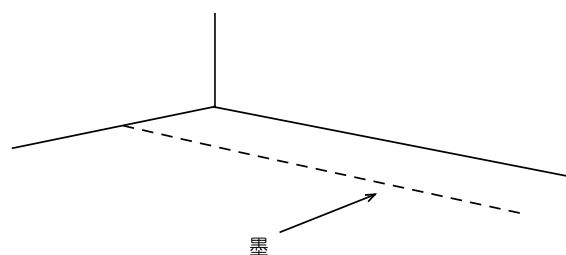
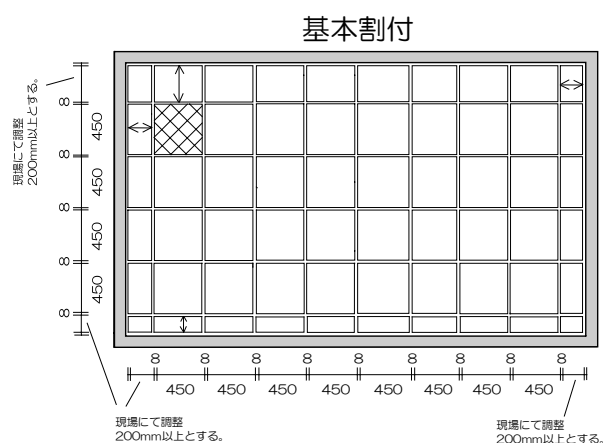
4.1 施⼯を始める前に

- ・スラブ面にゴミがないように清掃します。
- ・床高に合った⽀持脚であるか確認します。
- ・パッチの枚数を確認します。
- ・仕上がり高の墨打ちを確認します。

4.2 墨打ち

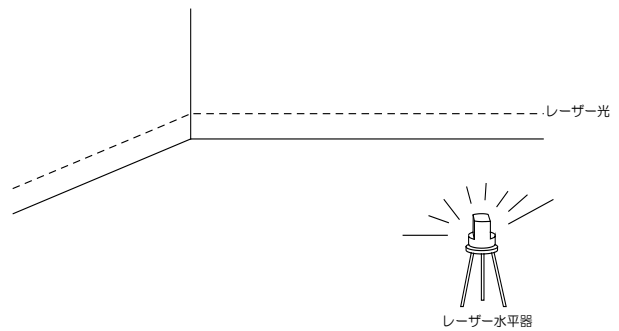
周囲 4 辺の壁際のパッチが 200mm 未満にならないことを考慮して、最初のパッチの張る位置を決めます。（部屋内壁から 2 列以上、部屋中央）

パッチが一直線に通るように縦横、墨をうちます。
（またはレーザーレベルの基準線）この墨にそってパッチを張っていきます。



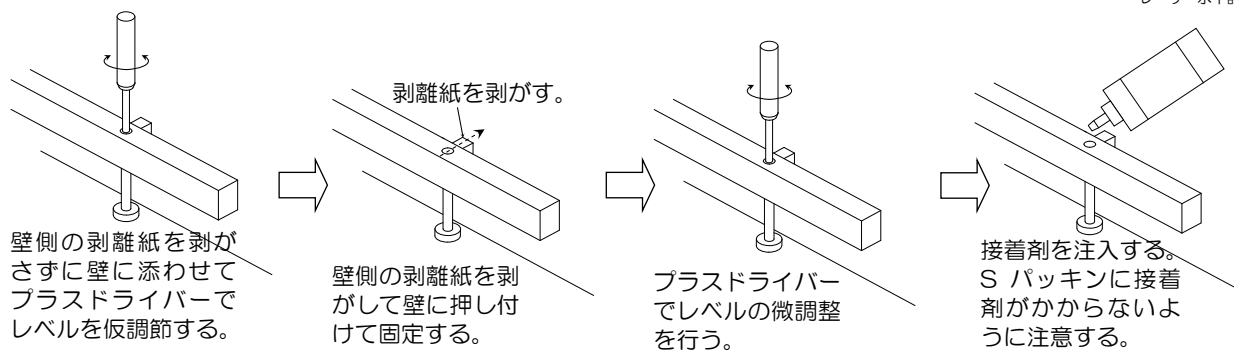
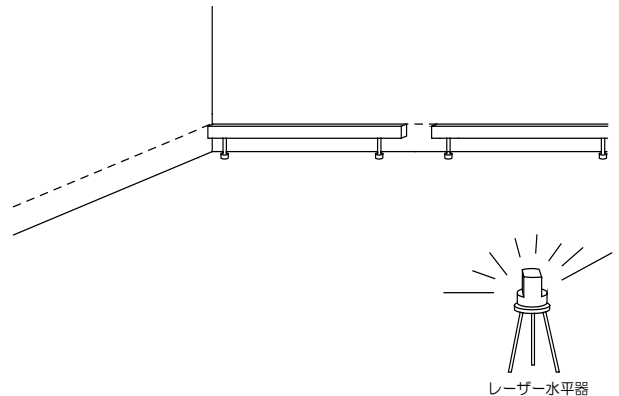
4.3 壁際の施工（システムネダ）

レーザー水平器を設置し、壁にレーザーをあてます。



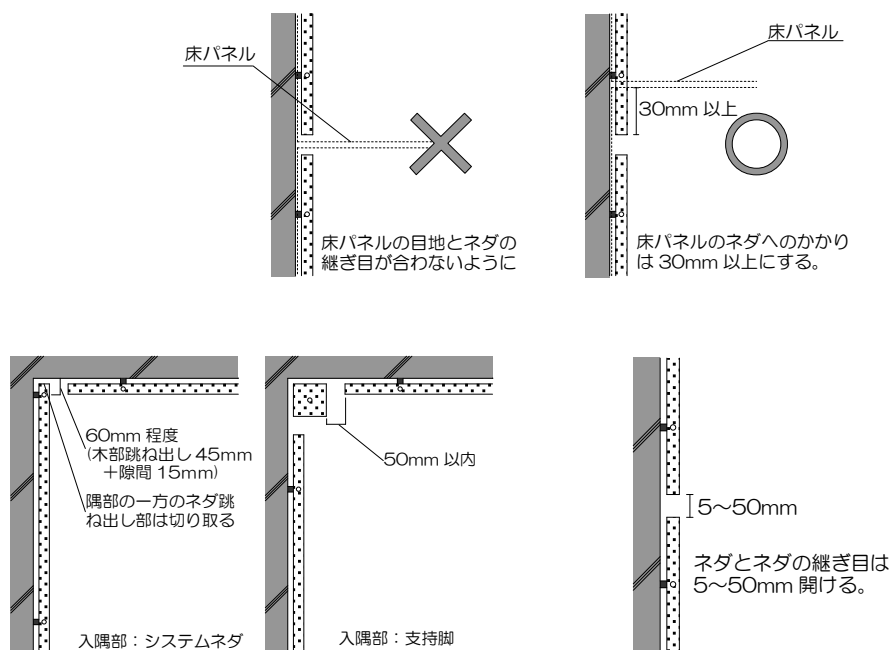
レーザーを基準となる高さに合わせ、システムネダを設置します。

システムネダが傾かないよう、ある程度高さを調整してから、Sパッキンの剥離紙を剥がして壁に固定し、その後、微調整を行います。

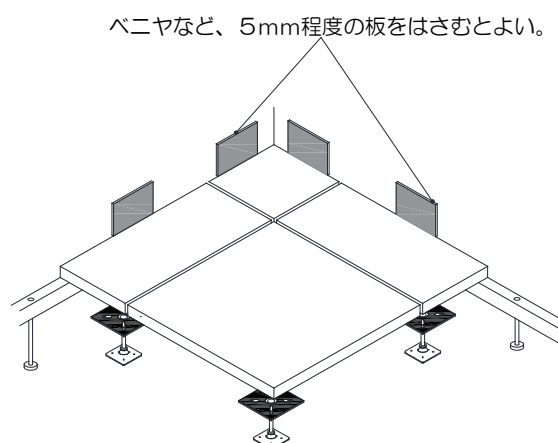


注意 システムネダを施工する際は、以下の点に注意してください。

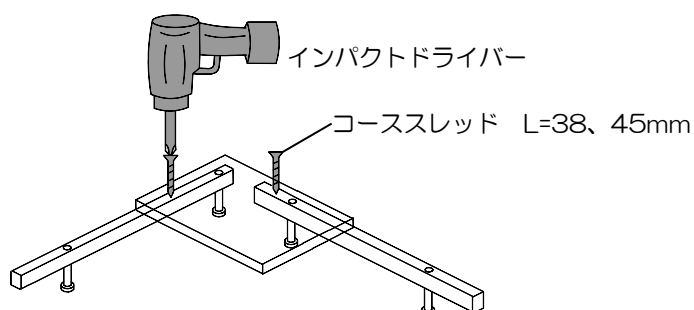
- パーチの割付を考慮し、ネダのジョイントとパーチの目地が一致しないように注意し、必要に応じて跳ね出し部をカットしてください。パーチへのネダへの掛かりは 30mm 以上にしてください。
- 入隅は両方向の跳ね出しにはならないよう、一方のネダ跳ね出し部分を切り取るか、支持脚受けとしてください。支持脚受けの場合、MF 型支持脚としてください。
- ネダとネダの継ぎ目間隔は 5～50mm 以内としてください。



壁側のパーチは、パネルが壁に当たらないよう、すきま（約 5mm）を確保してカットしてください。パーチと壁が接触すると床鳴りの原因になります。（隙間ゲージを用いると良い）



システムネダのボルト位置に注意して、コーススレッドで固定します。



4.4 パーチの敷設

壁際のパーチが縦横とも 200mm 以下にならないようにパーチをカットするなどして割付調整してください。

注意 パーチのねじ穴にザグリのある面を上にして施工してください。

台座を廻し、支持脚を適切な高さに調整します。
支持脚には、クッションゴムシートをのせてからパーチを取付けます。この時、支持脚の 2 ケ所に接着剤を塗布します。

①支持脚ベースプレート底面および②上面。(図参照)

注意 ③台座への接着剤注入は後工程です。
(4.7 接着剤の注入参照)

接着剤注入量(塗布量)の目安は以下の通りです。

OAP- 60~190 4ml

- ①ベースプレート底面塗布 2ml
- ②ベースプレート上面塗布 1ml
- ③台座注入 1ml

OAP- 210~540 6ml

- ①ベースプレート底面塗布 2ml
- ②ベースプレート上面塗布 1ml
- ③台座注入 3ml

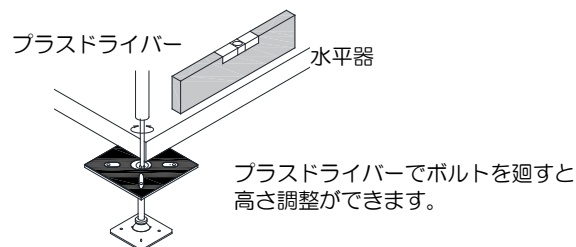
支持脚とパーチを仮留めします。

最初は、パーチに支持脚のねじ穴を入れやすくするため、ゆるめになべねじを留めてください。

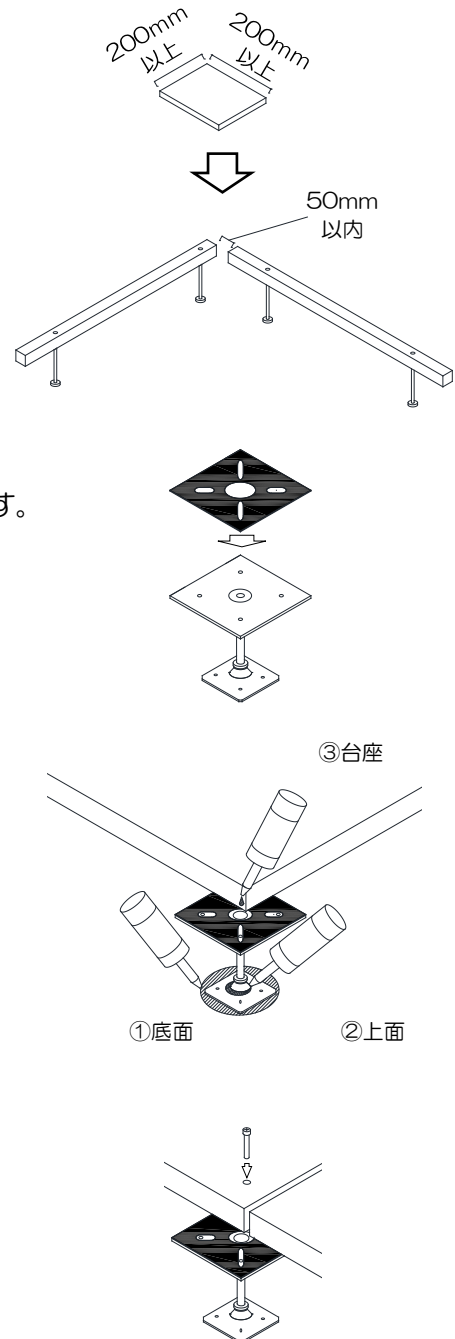
注意 なべねじは、きつく締めないで下さい。パーチの微調整ができなくなります。

注意 接着剤は 30 分程度で硬化が始まりますのでご注意ください。

パーチを一枚張るごとに、水平器・レーザー水平器等を用いてパーチを水平にし、レベル調整します。



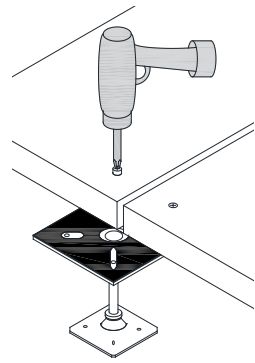
以上の作業を繰り返し、パーチを敷き詰めていきます。



4.5 パーチの固定

仮留めしていたなべねじをインパクトドライバーでしっかり締めます。（本締め）

パーチ同士の間（8mm）に隙間ゲージを入れると目地が揃えやすくなります。



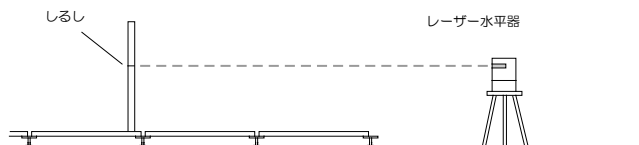
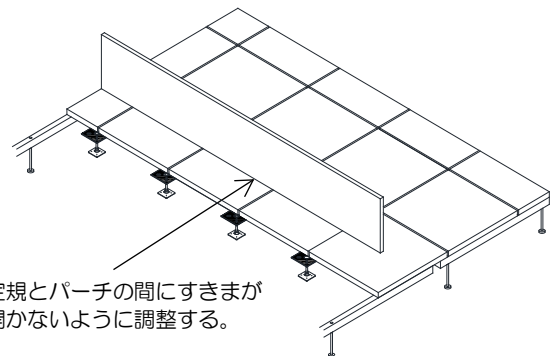
注意 なべねじの十字溝をつぶさないようにしてください。

注意 なべねじの頭がパーチから上に飛び出ないようにしてください。

注意 締め込み時は、なべねじが内部にめり込みすぎないようにしてください。

4.6 レベル調整（一列ごとに行う場合）

レーザー水平器・定規を用いた場合
かね尺等を支持脚上に立て、ドライバーで
ボルトを廻し、目印高さ位置と同じ位置に
レーザーがあたるようにポイント
（定規の長さごと）高さを調整します。



注意 支持脚全てのレベル調整を忘れないようにしてください。

4.7 接着剤の注入

レベル調整が終了したら、接着剤を③台座に注入します。

台座中央のくぼみに注入します。

接着剤により、台座とボルトを固定します。

接着剤注入量（塗布量）の目安は以下の通りです。

OAP- 60～190 4ml

①ベースプレート底面塗布 2ml

②ベースプレート上面塗布 1ml

③台座注入 1ml

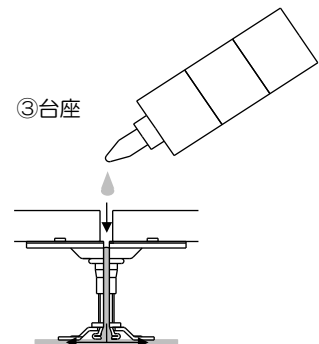
OAP- 210～540 6ml

①ベースプレート底面塗布 2ml

②ベースプレート上面塗布 1ml

③台座注入 3ml

接着剤が完全硬化するには1～2日くらいかかります。この間、床上に重量物を置いたり、歩いたりしないでください。



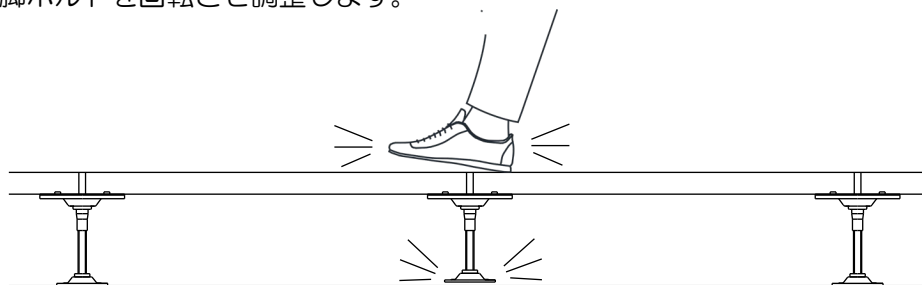
注意 接着剤をパーチにできるだけ付けないでください。パーチの取り外しが、しにくくなることがあります。

注意 接着剤を付けた箇所は、30 分以内に以下の作業を済ませてください。

- レベル調整
- ボルト頭部への接着剤注入

4.8 床全体のレベル点検

床全体を歩いて、支持脚の浮きがないか必ず確認します。支持脚の上を歩いて、他より柔らかく感じたら、浮いている可能性があります。浮きがあった場合は、レベルを確認しながらドライバーで支持脚ボルトを回転させ調整します。



注意 接着剤は 30 分程度で硬化が始まりますのでご注意ください。

5. その他

5.1 防水層上に施工する場合の注意事項

防水層保護のため、支持脚の下に緩衝材を施工します。

緩衝材（100 mm角程度の大きさ）に接着剤を塗布し、防水層の上に施工します。

緩衝材は、

（例）田島ルーフィング株式会社 バリキャップ（厚 6 mm×500 mm×1000 mm）

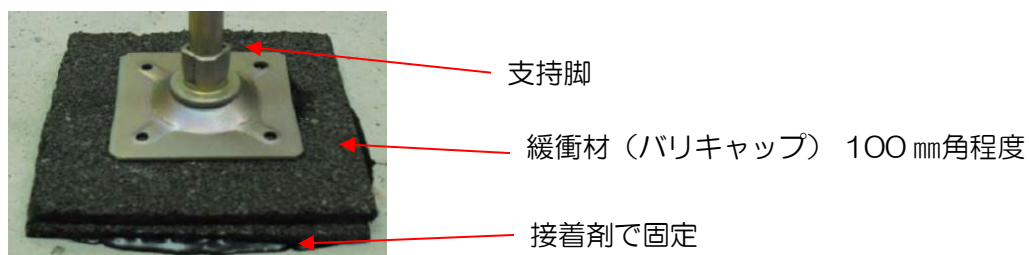
などを使用します。

部材を固定する接着剤は

（例）セメダイン PM-165R（1 液型エポキシ変性シリコーン樹脂系接着剤）

など「弾性・耐水性」のあるものを使用します。

緩衝材上の支持脚には、万協フロアー指定の接着剤（BA-200）を使用します。



5.2 その他の注意事項

①水を使用する作業

- ・二重床の上で、水を使用する作業を行う場合は、必ずビニールシート養生を行ってください。

②資材の仮置き

- ・二重床の上に、資材を仮置きする場合は、1ヶ所にまとめず、分散させ、静かに置いてください。（目安としては200kg/m²まで）
- ・まとめて仮置きした場合、床のたわみが戻るまで時間がかかり、仕上げ材の施工に支障が出る恐れがあります。

③その他

- ・二重床の上は、搬入経路等で使用しないでください。
- ・二重床施工後、床上に強い衝撃を加えないでください。建築資材の落下などにより、パーチが割れる場合があります。
- ・風雨にさらされる場所への施工は、避けてください。
- ・施工要領書に記載のない施工をおこなう場合は、事前にご相談ください。
- ・事業主様によっては、本施工要領書とは別に規定を設けている場合がありますので、ご確認の上、施工をおこなうようご注意ください。
- ・スラブから放出される水分が多い場合や漏水等により二重床下の空間で多湿状態(※1)が続くと、床材の反り、突き上げなどの原因になりますのでご注意ください。
- ・自然現象・周辺環境等(※2)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合による商品の交換等には対応いたしかねます。

(※1) 湿度 65%以上になるとカビが生えやすい環境となり、湿度 90%を超えると数日でカビが発生する可能性があります。

(※2) 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

「仕様は予告なく変更することがあります。」